

平成29年11月17日

登録有形文化財（建造物）の登録について

文化審議会（会長 ^{まぶち}馬淵 ^{あきこ}明子）は、平成29年11月17日（金）開催の同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに188件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申を行いました。以下は登録有形文化財（建造物）の概要と主な事例、一覧表です。

この結果、官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は、11,690件となる予定です。

1. 答申が行われた登録有形文化財（建造物）の概要

	新規登録	累 計
登 録 数	188件 30都府県56市町村(区)	11,690件 47都道府県911市町村(区)

○時 代 別

	江戸以前	明 治	大 正	昭 和	計
新規登録	69	56	18	45	188
累 計	2,065	3,744	2,418	3,463	11,690

○種 別

	産 業			交通	官公 庁舎	学校	生活 関連	文化 福祉	住宅	宗教	治山 治水	他	計
	1次	2次	3次										
新 規	5	9	20	0	1	3	0	5	82	62	0	1	188
累 計	122	1,183	1,493	483	217	360	329	331	5,285	1,610	197	80	11,690

	建 築 物	土木構造物	その他の工作物	計
新規登録	151	0	37	188
累 計	9,209	614	1,867	11,690

2. 主な事例

① 花巻温泉の核となる木造旅館建築

花巻温泉旧松雲閣別館 しょううんかく 岩手県花巻市

花巻温泉は、大正 12 年開業の大型リゾート地で、松雲閣は創立期の大正 13 年に創建された。別館は、昭和 2 年に建築された木造 2 階建の大規模旅館建築で、屋根を赤色釉薬ゆうの花巻瓦で葺き、内部には昭和 36 年の昭和天皇宿泊時の貴賓室や浴室等もよく残る。花巻温泉の往時の様子を今に伝える。



② 「じょうぎさん」の呼び名で参詣者に親しまれる寺院

じょうぎ 定義如来西方寺御廟貞能堂ほか ごびょうさだよし

宮城県仙台市

平清盛・重盛に仕え、平家没落後にこの地に隠れた平貞能の墳墓の上に建てられた小堂を、宝永 3 年（1706）に西方寺として開創した。以来、多くの参詣を受け、親しまれている。貞能堂は、昭和 2 年に気仙大工により建築された六角堂で、地元の職人の手による特色ある彫刻で豊かに飾る。



提供者：仙台市教育委員会

③ 療養地として知られた しょうなん 湘南に残る希少な明治期の結核病棟

なんこいん 旧南湖院第一病舎

ちがさき 神奈川県茅ヶ崎市

南湖院は、明治 32 年に設立された結核療養施設で、大正期に第十一病舎まで建築された。第一病舎は、最初に建てられた病舎で、窓を多く開き、採光や風通しに配慮する。北面に玄関部、西面に階段室を張り出して立面に変化を付け、二階窓上部にペディメントを飾るなど、外観を洋風意匠で整える。



提供者：茅ヶ崎市教育委員会

④ 宿泊施設として活用される町家

^{いなせ}
粋世主屋

滋賀県大津市

大津市街地に建つ中規模の町家。昭和 8 年の建築で、一階は通り土間に沿って、二列に室を並べ、二階には洋間も設ける。正面は東側の落棟に白漆喰で縁取りした虫籠窓、西側に銅板を巻いた格子窓を用いるなど意匠に変化をつける。平成 28 年に改修され、宿泊施設として活用されている。



撮影者：橋本慶昭

⑤ 東洋風や印度風の意匠を織り交ぜた近代建築

^{あしや}
芦屋仏教会館

兵庫県芦屋市

芦屋川と JR 東海道線が交差する角地に建つ。仏教思想に基づく聞法^{もんぼう}の場として発願され、丸紅商店社長の伊藤長兵衛の寄附によって建てられた。鉄筋コンクリート造の四階建てで、正面の付柱や開口部のアーチの形状、ステインドグラスの意匠などに東洋風や印度風の手法を取り入れる。



⑥ 明治期の標準的な小学校の様子をよく残す木造校舎

^{りょうよう}
綾陽校記念館

^{あや}
宮崎県東諸県郡綾町

明治 21 年に綾小学校の校舎として建てられ、三度の移築を経て現在地に移された木造校舎。内外とも和風意匠でまとめる。内部にある 3 室の教室は、明治 19 年に公布された小学校令が示す標準的な教室とよく合致し、建築当時の小学校校舎の様子を今に伝える。



<担当> 文化庁文化財部参事官（建造物担当）付

参事官 豊城浩行 （内線 2790）

登録部門 金井健，小沼景子，小澤栄一（内線 2797）

登録係 貴志徹 （内線 2738）

電話：03-5253-4111（代表） 03-6734-2792（夜間直通）

名 称	所 在 地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別	基準
花巻温泉旧松雲閣別館	岩手県花巻市	S2/S14・同36増築	昭和2年建築の木造二階建の大規模旅館で、同36年に昭和天皇行幸啓時の貴賓室や浴室等もよく残る。屋根は赤色釉（ゆう）薬の花巻瓦を葺（ふ）き、花巻温泉の往時の景観を今に伝える。	建築物 産業3次	1
旧岩手県知事公舎洋館	岩手県胆沢郡金ケ崎町	S2頃/S46・H6移築	昭和2年頃建築の県知事公舎の洋館の応接部。玄関奥にホールを設け、応接室や控室を配す。応接室の天井は中心飾りから放射状に天井板を張り、知事公舎にふさわしい意匠を備える。	建築物 官公庁舎	2
旧千田正家住宅主屋	岩手県胆沢郡金	S5	岩手県知事を務めた千田正の住宅。主屋は、一階に10畳座敷と食堂、二階に和室2室の構成で、モルタル塗の外壁に丸窓など、和洋の要素を調和させた外観。板倉も同時期の建築でよく残る。	建築物 住宅	2
旧千田正家住宅板倉	ケ崎町	S4頃/H7曳家		建築物 住宅	1
旧上有住小学校校舎	岩手県気仙郡住田町	S3/S59曳家・同60改修	木造二階建の校舎。外壁上部にドイツ壁を施し、柱型を塗り分けて強調する洋風意匠が特徴。中心にポーチを配して左右に延びる対称性の強い構成で、昭和初期の木造小学校校舎の好例。	建築物 学校	2
定義如来西方寺御廟貞能堂	宮城県仙台市	S2/S32・同43改修	御廟（びょう）貞能堂は、浄土宗鎮西派の旧本堂で、前身堂の部材を一部再用したと伝える。六角堂の背後に方形の裏堂が附属する特異な構成で、精巧で華やかな彫刻で飾る。御守授所は、小ぶりであるが入母屋造の屋根など本格的なつくり。鐘楼堂や手水舎は、虹梁（こうりょう）や臺股（かえるまた）など躍動感ある彫刻で飾る。山門は、三間一戸の二重門で、虹梁より上部に多量の彫刻を施し、猿の造形など創意にあふれる。気仙大工の技量が存分に発揮された堂宇群。	建築物 宗教	2
定義如来西方寺御守授所		S2/S51曳家,S32・H20改修		建築物 宗教	2
定義如来西方寺鐘楼堂		S7/S32・同60改修		工作物 宗教	2
定義如来西方寺手水舎		S8頃/S32改修		工作物 宗教	2
定義如来西方寺山門		S7/S32改修		建築物 宗教	2
旧大倉沢報徳館	秋田県由利本荘市	S5頃/H15改修	木造平屋建で、玄関まわりや窓枠などに洋風意匠をみせ、内部には42畳の大広間や応接室などを備えた、報徳社の支社社屋として数少ない遺存例。	建築物 文化福祉	2
佐藤繊維旧紡績工場東棟	山形県寒河江市	S9頃/S24移築,H28改修	大谷石を用いた石造倉庫。東棟は平屋建、西棟は二階建と規模は異なるが、ともに長大で、小屋組は木造のキングポストトラスである。全体に簡素な意匠でまとめるが、西棟では四周の壁面上部に石積二段を廻（めぐ）らして鉢巻状とし、意匠性をみせる。石造倉庫建築の好例。	建築物 産業2次	2
佐藤繊維旧紡績工場西棟		S9頃/S27移築,H28改修		建築物 産業2次	2
錦屋店舗兼主屋	山形県東置賜郡川西町	E後期/M前期増築,T期・S50頃改修	錦屋は米沢藩主から許可を得た菓子舗として寛政2年（1790）創業。店舗は、つし二階建平入で、妻面に束や貫を現す当地域の町家の特徴を示し、茅（かや）葺の外観で風情のある農村景観を形づくる。内蔵は、店舗兼主屋とともに並び建ち、街道沿いの歴史的景観に寄与する。	建築物 産業3次	1
錦屋内蔵		M前期/S60頃改修		建築物 産業3次	1
渡邊六郎兵衛家住宅長屋門	山形県西置賜郡飯豊町	M42	渡邊（わたなべ）六郎兵衛家は大地主を務めた旧家。長屋門は、中央門口に箴（おさ）欄間や格天井を設け、格式を示す。また腰壁を煉瓦（れんが）貼とし、観音扉の窓を連続させた特徴ある外観とする。	建築物 住宅	1
旧西廣家住宅（治郎吉）主屋	千葉県銚子市	M10頃/S12増築	銚子（ちょうし）を代表する船主の住居及び作業場。主屋は、豪壮なつくりの「本館」、増築部分である「総檜（ひのき）」と洋館からなる。付書院に犬吠埼（いぬぼうさき）の風景をあしらうなど細部意匠を凝らし、近代の大規模商家の有り様をよく示す。缶詰工場は、木造トラスの大空間を誇る。倉庫（北倉）と倉庫（南倉）は、敷地東方の一段高い位置に並び建つ。中心部は切妻造平入二階建で正側面三方に深く下屋を延ばす構成が特徴的な漁網倉庫。煉瓦塀は、主屋南側の庭を画すイギリス積の煉瓦塀。	建築物 産業1次	2
旧西廣家住宅（治郎吉）缶詰工場		S初期/S10増築,S30・H21改修		建築物 産業1次	1
旧西廣家住宅（治郎吉）倉庫（北倉）		慶応年間(1865-1867)		建築物 産業1次	2
旧西廣家住宅（治郎吉）倉庫（南倉）		慶応年間(1865-1867)		建築物 産業1次	2
旧西廣家住宅（治郎吉）煉瓦塀		S初期		工作物 産業1次	1

名 称	所 在 地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別	基準
石上酒造米蔵	千葉県銚子市	M中期/H23改修	銚子市街の中心地に位置する酒造施設。土蔵造の米蔵や文庫蔵，大谷石を用いた石造の麴（こうじ）室，仕込蔵（醗（もろみ）蔵），貯蔵蔵が建ち並ぶ。麴室は，内部を杉板張とし，内壁と外壁の間に粃（もみ）殻を詰めるなど保温のための仕組みもよく残る。仕込蔵（醗蔵）や貯蔵蔵は，小屋組を近代的なトラスとする。酒造業の中核をなす施設がよく残り，当時の蔵の様相をよく伝える。	建築物 産業2次	1
石上酒造麴室		M29頃		建築物 産業2次	2
石上酒造仕込蔵（醗蔵）		M35頃		建築物 産業2次	1
石上酒造貯蔵蔵		M35頃		建築物 産業2次	1
石上酒造文庫蔵		M35頃/H23改修		建築物 産業2次	1
茂木七郎右衛門家住宅主屋	千葉県野田市	M中期/H4改修	茂木七郎右衛門家は，安永元年(1772)より屋号を柏（かしわ）屋として醤油（しょうゆ）醸造業を営み，明治から大正には野田の醤油醸造業の発展に大きく貢献した。主屋は，主屋棟，土間棟及び座敷棟からなり，外壁を黒漆喰塗として重厚な趣をみせ，座敷棟の各室は良材を用いた上質な意匠で往時の生活の様子が伺える。書院は，座敷3室を並べ，座敷飾りや透彫欄間，シャンデリアなど，瀟洒（しょうしゃ）な意匠を誇る。新座敷は，背面側の外壁を大壁や鉄板張とし，建具も鉄板張として防火対策が講じられる。主屋背面に本蔵と新蔵が建つ。ともに土蔵造二階建で，小屋組に叉首（さす）組と和小屋組を併用する。本蔵は，壁内に砂利を詰めて防火・防犯の対策を凝らし，新蔵は，一階腰部を海鼠（なまこ）壁として意匠を凝らす。向蔵は，文政4年(1821)の野田大火時の焼損跡が残り，敷地内で最も古い建物で，地域の歴史を今に伝える。奥文庫蔵は，当地の醸造家の一つである高梨周造家からの移築と伝わり，歴史の変遷を伝える土蔵。穀物蔵は，琴平神社への参道脇に建つ建ちの高い平屋建土蔵で，神庫としても使用される。正門は，旧家の表門に相応しい堅牢（けんろう）なつくりの薬医門で，重厚な趣を呈する。内門は，主屋前庭を画し，両袖に板塀を延ばす。敷地内には，4.2メートル超の高さを有する煉瓦塀や書院北・東側土塀，書院南側板塀などの附属施設も良好に保存されている。	建築物 住宅	2
茂木七郎右衛門家住宅書院		M38/H7改修		建築物 住宅	2
茂木七郎右衛門家住宅新座敷		T元頃/H4改修		建築物 住宅	1
茂木七郎右衛門家住宅本蔵		E後期/H22改修		建築物 住宅	1
茂木七郎右衛門家住宅新蔵		T元頃/H22改修		建築物 住宅	1
茂木七郎右衛門家住宅向蔵		E後期/H15改修		建築物 住宅	1
茂木七郎右衛門家住宅奥文庫蔵		E後期/M25移築,H22改修		建築物 住宅	1
茂木七郎右衛門家住宅穀物蔵		M前期/H11改修		建築物 住宅	1
茂木七郎右衛門家住宅正門		M中期/H20改修		工作物 住宅	1
茂木七郎右衛門家住宅内門		M後期/S46移築		工作物 住宅	1
茂木七郎右衛門家住宅煉瓦塀		M25頃		工作物 住宅	1
茂木七郎右衛門家住宅書院北・東側土塀		M38頃		工作物 住宅	1
茂木七郎右衛門家住宅書院南側板塀		M後期/H22改修		工作物 住宅	1
茂木七郎右衛門家住宅琴平神社本殿	千葉県野田市	M5	琴平神社は，茂木七郎右衛門家住宅の宅地東隣に境内を構える。本殿は，向唐破風造の照り起り屋根を架け，妻入とする屋根形式が特徴で，波紋籠彫の持送りや中備の透彫彫刻，笱形（おいがた）や兎毛（うのけ）通しなど立川流大工の技量がさえる。神楽殿も本殿と同様の特徴的な屋根形式をもち，兎毛通しに天狗（てんぐ）面を彫刻して正面を飾る。内部は舞台と控室を配し，松羽目の鏡戸をたて整った構え。額殿（絵馬殿）や手水舎も，本殿と同じ立川流大工による丁寧な造作で，細部彫刻にみるべきものがある。琴平蔵は本殿西方に建ち，祭礼時の道具等を収める大型土蔵である。	建築物 住宅	1
茂木七郎右衛門家住宅琴平神社神楽殿		T9		建築物 住宅	1
茂木七郎右衛門家住宅琴平神社額殿（絵馬殿）		M29		建築物 住宅	1
茂木七郎右衛門家住宅琴平神社手水舎		M5/M25移築		工作物 住宅	1
茂木七郎右衛門家住宅琴平蔵		M前期		建築物 住宅	1
旧井阪屋本店河合ビル	東京都台東区	S10	浅草寺の参道に続く通りに建つ。鉄筋コンクリート造で，一階正面は石貼で，凸凹やレリーフをつくり出して表情をつける。昭和初期の商業ビルとして貴重。敷地後方に稲荷社が建つ。	建築物 産業3次	1
旧井阪屋本店河合ビル稲荷社		S初期/S22頃移築		建築物 産業3次	1
難波商店店舗兼主屋	東京都台東区	S4頃/S43増築,S52改修	浅草通りの角地に建つ鉄筋コンクリート造の商店建築。外壁は色モルタル塗で縦長窓と丸窓を開き，緑色の瓦や高欄を廻し意匠性に富む。塔屋は反りの強い屋根を二重に架けた独創的な外観。	建築物 産業3次	1

名 称	所 在 地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別	基準
高橋家住宅主屋	東京都西東京市	S2/S55改修,H23増築	高橋（たかはし）家は江戸中期には交代名主を務め、明治以降は製茶や藍玉つくりなどで財を成した。主屋は、入母屋造の表玄関、切妻造の裏玄関を並べ、中廊下を通して生活空間と接客空間を区分する配置、洋小屋やガラス建具の使用などに都市近郊農家の近代化を示す。衣装蔵は、扉口と窓の観音扉に黒漆喰を施し、水切と鉢巻を廻らす丁寧なつくり。納屋は、もと平屋建の馬屋で、後世に二階が増築されたが、柱、梁（はり）など軸組は旧態をよく留める。表門は、主屋の南方に建つ一間薬医門で、軸部は木太く堂々たる外観をみせ、屋敷地に風格を添えている。	建築物 住宅	1
高橋家住宅土蔵		M8/T12・H19改修		建築物 住宅	1
高橋家住宅衣装蔵		M8頃/S47増築,S62改修		建築物 住宅	1
高橋家住宅納屋		E末期/S前期増築		建築物 住宅	1
高橋家住宅表門		M期/S30頃改修		工作物 住宅	1
峯岸家住宅主屋	東京都西多摩郡檜原村	E末期/M中期改修	急しゅんな斜面地に建ち、主屋と馬小屋からなる。主屋は土間が狭く、板壁や京呂組の梁組に山間部である当地域の特徴を示す。もと茅葺で、明治中期に小屋組を改めて蚕室を設けるなど養蚕農家の変遷を残す。	建築物 住宅	1
尾日向家住宅洋館・和館	神奈川県藤沢市	S3頃/S40・同60増築	洋館と和館の間を二階建部分でつなぐ構成で、屋根は赤褐色の洋瓦を葺く。寄木張の床に腰壁板張で暖炉を備える洋館の応接室、和館の10畳座敷など、意匠を凝らした大規模住宅。	建築物 住宅	2
旧鈴木薬店店舗兼主屋	神奈川県藤沢市	S10	藤沢宿近くの境川東岸に位置する。二階天井高を高く取り、ガラス戸を用いた明るい空間を実現する。良材を用いた質の高い近代商家の好例。	建築物 産業3次	2
旧南湖院第一病舎	神奈川県茅ヶ崎市	M32/S54・同58・H15改修	南湖院は明治32年に設立された結核療養施設。第一病舎は外壁下見板張で、二階窓上部にはペディメントを飾るなど洋風意匠で整える。療養地として知られた湘南（しょうなん）に残る希少な明治期の結核病棟。	建築物 文化福祉	2
越乃雪本舗大和屋店舗兼主屋	新潟県長岡市	S22頃/S20's後半・S40頃増築,S56改修	長岡藩御用達の菓子製造を行っていた老舗。主屋は昭和中期の商家建築であるが、切妻造妻入で正面に雁木（がんぎ）を付すなど伝統的な表構えをもつ。	建築物 産業3次	1
潮音寺観音堂	新潟県小千谷市	文化14年(1817)	観音堂は入母屋造の三間堂で、軒唐破風付の向拝一間を出す。外部組物を霊鳥や霊獣など躍動感ある彫刻で飾るいっぽう、内部は繊細な意匠の彫刻を用いる。山門は四脚門で、細部まで彫刻を施し、整った意匠をみせる。	建築物 宗教	2
潮音寺山門		E後期		工作物 宗教	1
関山神社本殿・幣殿・拝殿	新潟県妙高市	文政元年(1818)/S2・同45改修	妙高山北山麓にあり、江戸時代には山岳信仰の拠点として栄えた。本殿・幣殿・拝殿は、入母屋造、妻入で、奥行方向に拝殿、幣殿、本殿を並べ、両側後方に神饌（しんせん）所・控室を設ける特徴的な平面をもつ。随所に彫刻を施し、細部意匠も見応えがある。宮殿は一間社流造、軒唐破風付で、赤色塗装を基調に向拝柱や正面両折戸を黒漆塗とし、彫刻を彩色して華やかに飾る。	建築物 宗教	2
関山神社宮殿		寛政2年(1790)/文化15年(1818)・S35改修		建築物 宗教	2
旧高田桶店店舗兼主屋	石川県金沢市	M後期/H26改修	金沢城東方の旧天神町区域に建つ。軒高は極めて低く、もと板葺石置屋根の屋根勾配や正面柱の部（しとみ）戸痕跡など、金沢における町家の古い形式を残す。	建築物 産業3次	2
尾崎家住宅主屋	福井県鯖江市	E後期/M後期・S40's・H8改修	尾崎家は代々善兵衛を名乗り、庄屋（しょうや）を務めた旧家。主屋は前広間型の平面で、本座敷のみ長押を廻らし、ほかは差鴨居（かもい）に付樋端（ひばた）と古式である。茅葺から瓦葺への変遷を示す痕跡を留めており貴重。表門は一間薬医門で、板扉に四葉金具を打つなど風格を備えた表構えをみせる。	建築物 住宅	2
尾崎家住宅表門		文政4年(1821)/H8改修		工作物 住宅	1
若狭国古城歴史資料館（旧田辺半太夫家住宅）	福井県三方郡美浜町	E後期/H21移築	田辺家は代々山東の大庄屋を務めた旧家。主屋部は、一尺角の大黒柱や豪壮な梁組を現す。座敷部は、もと小浜藩の町奉行所建物と伝え、式台玄関を設け、数寄屋風の瀟洒な意匠を用いる。	建築物 住宅	2

名 称	所 在 地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別	基準
本折井家住宅主屋	長野県松本市	寛政2年(1790)/S中期改修	当地域を代表する本棟造の民家で、前方ヘカミザシキを突出させ、格式高い接客空間をもつ。八寸角の大黒柱や重厚な梁組に対し、座敷構えは瀟洒な意匠をみせる。	建築物 住宅	2
筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所大明神寮	長野県上田市	S40	高原の緩斜面に建つ。木造平屋建で北側に廊下を通し、東に4室、西に食堂や風呂などを配す。南面に出窓を設けて二重窓として採光と断熱を図るなど、寒冷な気候に対処するための特異な特徴を備えた大学宿舍。	建築物 学校	1
平林家住宅主屋	長野県塩尻市	E末期/H8改修	街道沿いに建つ伝統的な本棟造の民家。式台玄関から下座敷、上座敷の構えがよく残る。	建築物 住宅	1
旧朝吹山荘（睡鳩荘）	長野県北佐久郡軽井沢町	S6/H20移築	実業家朝吹（あさぶき）常吉の別荘。外壁の割丸太や内部の丸太材の化粧梁など野趣豊かで、モルタル塗の煙突をバランスよく配する。ヴォーリズ建築事務所による代表的な山荘建築。	建築物 住宅	2
旧ジョルゲンセン邸	長野県北佐久郡軽井沢町	T15	アメリカ人宣教師の別荘。木造二階建で、張出し部にサンルームを兼ねた玄関を設ける。食堂兼リビングに石積の暖炉を築く。外壁は下見板張で、各面に窓を開いた開放的なつくりとする。	建築物 住宅	1
旧西川家住宅	長野県北佐久郡軽井沢町	S初期/S57改修	ヴォーリズ建築事務所による別荘建築。小規模ながら、収納家具などに生活への配慮が凝らされ、二階には寝台をつくり付けた寝室と地袋付の八畳和室の和洋の室を配す。	建築物 住宅	1
次郎長生家（旧高木家住宅）	静岡県静岡市	E末期/S35曳家,H29改修	清水次郎長の生家として知られる。チョウナ痕、和釘（くぎ）の使用など近世の特徴をもつ。地域の歴史を良好に伝える町家建築。	建築物 住宅	1
高林家住宅主屋・隠居	静岡県浜松市	S4	高林家は近世に代官を務め、第14代当主兵衛は民芸運動の支援者としても知られる。主屋は、玄関	建築物 住宅	2
高林家住宅田舎家		S6/S前期曳家,S60's改修	東にサンルーム付の12畳、西に座敷や隠居を雁行（がんこう）させる。ナグリ仕上の梁を現し、建具に紗綾（さや）形、卍（まんじ）崩を用いるなど民芸運動につながる意匠をよく示す。田舎家は、主屋南に渡廊下を介して建ち、主室は床を備え長押を廻すのに対し、次室は竹天井や手斧	建築物 住宅	2
高林家住宅蔵		T期	（ちょうな）はつりの梁組を現すなど野趣に富む。昭和初期の古民家活用的好例で、我が国最初の常設民芸展示場としても貴重。蔵は、外壁に黒色の簀子（ささらこ）下見板を張り、重厚な趣をも	建築物 住宅	1
高林家住宅長屋門		享和3年(1803)/H12改修	つ。長屋門は、与力窓や腰簀子下見板張など趣のある屋敷構え。給水塔は、柱4本を立て上部に貯水槽を載せモルタル塗で仕上げる、類例まれな昭和初期の鉄筋コンクリート造の住宅用給水塔。	建築物 住宅	1
高林家住宅給水塔		S初期		工作物 住宅	1
原田家住宅主屋	静岡県焼津市	M8	原田家は近世に庄屋を務めた。主屋は山裾に所在する敷地中央に建ち、土間では太い大黒柱を中心	建築物 住宅	1
原田家住宅離れ		M後期	に重厚な梁組をみせ、食違六間取の平面に近世民家形式を継承する。離れは、数寄屋風の瀟洒な造	建築物 住宅	1
原田家住宅文庫蔵		M初期	作をもつ。文庫蔵は外壁漆喰塗で、正面の腰を海鼠壁として両妻面上部に水切を付す丁寧なつく	建築物 住宅	1
原田家住宅表門		M後期	り。表門は、主屋の南正面に建ち、旧家の表構えに風格を添える。	工作物 住宅	1
旧猪子家住宅主屋	三重県志摩市	S9/S中期,H29改修	英虞湾（あごわん）を見下ろす敷地に建つ。主屋は木造平屋建で、玄関と台所部を張出し、各々入	建築物 住宅	2
旧猪子家住宅土蔵		S9	母屋造の屋根を架けて外観に変化をつける。内部は、和室の欄間に施された松と鶴の彫刻、玄関脇	建築物 住宅	1
旧猪子家住宅門柱		S9	の洋間など、和洋の上質な意匠を併せもつ。土蔵や石造の門柱も当時の様相をよく留める。	工作物 住宅	1
粹世主屋	滋賀県大津市	S8/H28改修	大津市街地の浜通りに建つ町家。一階は通り土間と2列の室からなり、二階には洋間も設ける。正面東に白漆喰で縁取りした虫籠窓、西に銅板を巻いた格子窓を用いて意匠に変化をつける。	建築物 住宅	1

名 称	所 在 地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別	基準
志賀谷家住宅主屋	滋賀県彦根市	E末期	旧職人町に位置する町家。建ちが低く正面の出格子や袖壁など、江戸末期の城下の景観を今に伝える。	建築物 住宅	1
南川家住宅主屋	滋賀県近江八幡市	S3頃	旧城下町南方の集落にある。主屋の居室部は中廊下式で合理的な動線を確保し、座敷部は箆欄間や彫刻欄間など細部意匠に富む。長屋門は与力窓を開くなど、格式ある表構えとする。	建築物 住宅	1
南川家住宅長屋門		E末期/H15頃改修		建築物 住宅	1
猪飼家住宅長屋門・看板所	滋賀県栗東市	E末期/S期改修	猪飼（いかい）家は近世に郷代官を務め、蘭方（らんぼう）による薬を販売した。長屋門は東海道に面し、中央門口の内側に式台を設ける特異な形式で、代官所の風格を備えつつ看板所が薬種業の名残を伝える。長屋門の北東隅から東に塀が延び、街道筋の表構えを形成する。	建築物 住宅	1
猪飼家住宅長屋門塀		E末期		工作物 住宅	1
瓦屋寺本堂	滋賀県東近江市	正保2年(1645)	箕作山（みつくりやま）の境内に南面する臨済宗妙心寺派寺院。本堂は、堂内中央後寄りに須弥壇を設け本尊千手観音立像（国重文）を安置する。和様と禅宗様の意匠を巧みに取り入れた茅葺の本堂。地蔵堂は、本堂西に接続し、後世に改変を受けるものの仏壇の前面柱はもと来迎柱で、旧規がしのばれる。開山堂は、開山堂、相の間、礼堂から構成され、禅宗寺院の開山堂の形式をよく残し貴重である。経堂（海印蔵）は、内部中央に八角輪蔵を置き、黄檗（おうばく）版海印経を納める。内部四隅の架構に見応えがある。寶頭盧（びんずる）堂は、小規模ながら細部まで禅宗様の意匠でまとめる。鐘楼は、16面取角柱を立て、装飾は化粧棟木を受ける実肘木の絵様のみとわずかであり、木柄が太く堂々たる構え。庫裏は、土間上部に壮大な梁組をみせ、式台玄関の秀逸な細部意匠も見応えがある。	建築物 宗教	2
瓦屋寺地蔵堂		正保年間(1644-1647)/S前期改修		建築物 宗教	1
瓦屋寺開山堂		元禄13年(1700)/S前期改修		建築物 宗教	1
瓦屋寺経堂（海印蔵）		享保10年(1725)		建築物 宗教	2
瓦屋寺寶頭盧堂		文政元年(1818)		建築物 宗教	1
瓦屋寺鐘楼		正保年間(1644-1647)		工作物 宗教	1
瓦屋寺庫裏		M4		建築物 宗教	1
岡家住宅主屋	滋賀県蒲生郡日野町	S14/S41増築	ヴォーリズ建築事務所による和洋折衷住宅。外観は赤瓦葺、色モルタル塗で玄関廻りは和風意匠とする。サンルームや台所、洋室など近代的要素を示し、座敷飾りやサンルーム飾棚に和風意匠を取り入れる。	建築物 住宅	1
川並家住宅主屋	滋賀県犬上郡甲良町	M8頃/S40's改修	川並（かわなみ）家は戦前まで麴屋を営んでいた。集落内の南西角地に位置し、主屋は入母屋造茅葺（鉄板仮葺）の四周に下屋を廻らし、整型四間取で、湖東・湖南地域の伝統形式を示す。文庫蔵は通りに面して銅板張の窓を開き、屋敷構えを引き立てる。	建築物 住宅	1
川並家住宅文庫蔵		M8頃		建築物 住宅	1
今宮神社本殿	京都府京都市	M35	今宮神社は船岡山の北方に位置し、長保3年(1001)に起源をもつ古社。境内北端に本殿と疫神社本殿が並び建つ。本殿と幣殿・拝所・廻廊（かいろう）は明治35年の再建で、伊藤平左衛門の設計施工である。本殿は、伝統形式を保ちつつ、向拝の間口と奥行、けらばを広めて優美な外観をもつ。本殿前に切妻造妻入の幣殿を建てて前面に向唐破風造の拝所を構え、幣殿左右に廻廊を延ばす。	建築物 宗教	2
今宮神社幣殿・拝所・廻廊		M35		建築物 宗教	2
今宮神社疫神社本殿		M41頃	疫神社の本殿、渡廊・門・廻廊は亀岡末吉の設計。本殿は、墓股などに中世社寺を模範とし、近代的表現でまとめた優美な意匠が用いられ、亀岡による設計の特質を示す。疫神社本殿前に切妻造妻入の渡廊を建てて前面に平唐門を開き、その左右に廻廊を延ばす。渡廊、門とも墓股や門の透彫欄間など亀岡らしい繊細優美な意匠をもつ。	建築物 宗教	2
今宮神社疫神社渡廊・門・廻廊		M41頃		建築物 宗教	2
今宮神社神楽殿		天保10年(1839)/M後期改修	神楽殿は本殿東側に建ち、渡廊で本殿とつなぐ。北室を神殿とし、繊細な意匠の神楽殿である。	建築物 宗教	1
今宮神社本殿築地塀		M後期	本殿築地塀は、本殿と疫神社本殿の側背面に廻らされた土塀で、本殿域に格式を添える。	工作物 宗教	1

名 称	所 在 地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別	基準
今宮神社拝殿		元禄7年(1694)/弘化3年(1846)改修	拝殿は幣殿正面に建ち、境内軸の中枢をなす。比較的規模の大きな舞殿形式の拝殿。	建築物 宗教	1
今宮神社絵馬舎		寛政12年(1800)	絵馬舎は周囲を吹放す形式で、軸部は木太く、内外に多数の絵馬を掲げ、当社の庶民信仰の様相を伝える。	建築物 宗教	1
今宮神社若宮社本殿		元禄7年(1694)	境内中ほどの西寄りに建つ。本殿は、三間社で、春日造屋根を左右に並べ、棟をエ字形につなぐ独特な屋根形式をもつ優美な意匠の社殿。拝殿は、方一間で本社拝殿同様に舞殿形式の拝殿で元禄	建築物 宗教	1
今宮神社若宮社拝殿		元禄7年(1694)	(げんろく)再興期の境内の様相を伝える。門・透塀は全体に丁寧なつくりで、若宮の神域を画す。	建築物 宗教	1
今宮神社若宮社門・透塀		元禄7年(1694)		工作物 宗教	1
今宮神社地主社本殿		天保13年(1842)	若宮社裏の微高地に建つ。本殿は、二間社流造で、向拝は虹梁形頭貫上に臺股2個を置くなど独自性を示す。本殿正面に拝所が建ち、左右に透塀を延ばす。	建築物 宗教	1
今宮神社地主社拝所・透塀		天保13年(1842)		建築物 宗教	1
今宮神社月読社本殿		M43	境内西方の石段上に建つ。本殿は一間社流造で、簡明な意匠である。本殿正面の切石積基壇上に拝所が建ち、左右に透塀を延ばす。拝所は、方一間で背面柱筋に格子を入れて結界とし、境内中心から隔された静かなたたずまいをみせる。	建築物 宗教	1
今宮神社月読社拝所・透塀		M43		建築物 宗教	1
今宮神社八社		元禄7年(1694)頃	若宮社の北側には、元禄再興期や江戸後期に整備された小社群が建つ。八社は、八間社流見世棚造で元禄再興期に末社を合祀(ごうし)して建立されたとされ、境内再編の歴史を伝える。八幡(はちまん)社は、一間社流造で、身舎は前後に二分し、前寄りを吹放ちとする手の込んだ造作の境内社。大將軍社本殿・拝所は、拝所背面に設けた棚に本殿への木階三級を付けるという独特な形式をもつ。日吉社は、一間社流見世棚造で、若宮社周辺の良い境内景観に寄与する。	建築物 宗教	1
今宮神社八幡社		E後期		建築物 宗教	1
今宮神社大將軍社本殿・拝所		元禄8年(1695)頃		建築物 宗教	1
今宮神社日吉社		E後期		建築物 宗教	1
今宮神社宗像社		元禄7年(1694)頃	宗像社は、境内南東隅に建つ。一間社流造で、小社ながら多様な造作に元禄期の特徴をみせる。	建築物 宗教	1
今宮神社祭器庫		E後期/T後期移築	境内北東隅に建つ祭器庫は、神輿(しんよ)庫を大正15年楼門建立時に移転転用したもので、正面妻壁の大振りの臺股が印象的である。神輿庫は、正面は神輿(みこし)の出入りのため広い柱間で3区画し、黒色の大きな鉄扉で重厚な外観をもつ大型の神輿庫。手水舎は、内法貫上に2個、頭貫上に1個と2段に臺股を置き、華やかな細部意匠をもつ。	建築物 宗教	1
今宮神社神輿庫		T後期		建築物 宗教	1
今宮神社手水舎		元禄7年(1694)		工作物 宗教	1
今宮神社楼門		T15	楼門は、境内南正面に建つ。三間一戸楼門で、柱間の通減、階高の調整により安定感のある姿形をもち、脚を伸ばした華麗な臺股など細部には近代社寺建築の特徴を備える。楼門の東西にやや間をあけて東廻廊と西廻廊が建つ。隅柱を延ばし、二軒(ふたのき)の軒や妻の破風に強い反りをもたせ、中世以前の意匠、技法を援用した良質な廻廊。	建築物 宗教	2
今宮神社楼門東廻廊		T15		建築物 宗教	2
今宮神社楼門西廻廊		T15		建築物 宗教	2
今宮神社東門		M14	東門は、東参道に構える。間口4メートルの薬医門で、左右に築地塀を従え、古社の境内入口に相応しい重厚な趣をもつ。	工作物 住宅	1
今宮神社東門南北築地塀		M14		工作物 宗教	1

名 称	所 在 地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別	基準
今宮神社御旅所権殿社	京都府京都市	寛政7年(1795)	今宮神社御旅所は船岡山の東方に位置する。権殿社は、三間社で、旧洛中（らくちゅう）の最北に位置し、今宮祭の際に神輿から祭神が遷座する重要な役割を担う社殿で、墓股など細部意匠はよく整っている。神輿奉安殿は、御旅所の中核をなす大規模な建物で、小屋をトラス組とする。能舞台は、舞台は小組格天井を張り、後座の鏡板には松と竹を描き、謡座を構えた近世能舞台の古例である。鏡の間は能舞台と一体の施設であり、御旅所の構成要素となる。	建築物 宗教	1
今宮神社御旅所神輿奉安殿		S20		建築物 宗教	1
今宮神社御旅所能舞台		寛政7年(1795)		建築物 宗教	1
今宮神社御旅所鏡の間		E末期		建築物 宗教	1
玉田神社本殿	京都府久世郡久御山町	寛永元年(1624)/文化2年(1805)改修	玉田神社は、和銅3年(710)の創建と伝え、4神をまつり平城京への遷都に際して皇城鬼門除け勅願により8神となった。本殿は、寛永元年の八間社を文化2年に縮小し四間社とした。柱や桁など軸部に寛永材が残り、実肘木に江戸初期の特徴を示す。末社市杵（いちき）社は、本殿の南東の覆屋内に建つ。小社ながら整った意匠をもち、組物や板壁に旧彩色の痕跡をよく残す。境内の北西方に一の鳥居、境内の南面を東西に走る祭礼道の入口に二の鳥居が建つ。ともに石造明神鳥居であるが、二の鳥居は規模が小さく柱径が太いため、安定感のある造形をみせており、時代の古さが感じられる。	建築物 宗教	1
玉田神社末社市杵社		E中期		建築物 宗教	1
玉田神社一の鳥居		文化年間（1804-1817）		工作物 宗教	1
玉田神社二の鳥居		享保年間（1716-1735）/文化年間（1804-1817）移築		工作物 宗教	2
播谷商店主屋	大阪府大阪市	S4頃/H27改修	第二次市域拡張で大阪市に編入された地に建つ。主屋は、広間棟、玄関棟、仏間棟が連なる構成で、意匠を凝らした中廊下式の近代和風住宅。店舗は、敷地の南西隅で街路に面する質屋店舗。腰部を花崗（かこう）岩貼、窓には格子を入れ、二階壁面は黒色タイル貼で軒を黒漆喰で塗込め、堅牢さを表現する。店舗の北に土蔵が建ち、敷地南面に門を開き、東面へ矩（かね）折れにコンクリート造の塀を設ける。	建築物 産業3次	2
播谷商店店舗		S4頃/S50's後半改修		建築物 産業3次	2
播谷商店土蔵		S4頃		建築物 産業3次	1
播谷商店門及び塀		S4頃		工作物 産業3次	1
若山神社本殿	大阪府三島郡島本町	文化4年(1807)/T11改修	平野部を見下ろす景勝地に東面して建つ。三間社流造で、中央柱間を広くとる。向唐破風造の向拝には、近代らしい装飾意匠の彫刻を施す。	建築物 宗教	2
芦屋仏教会館	兵庫県芦屋市	S2/H15曳家	鉄筋コンクリート造四階建の近代建築で、正面の付柱や開口部のアーチの形状、ステインドグラスの意匠などに東洋風や印度風の手法を取り入れる。	建築物 文化福祉	2
旧西垣家住宅主屋	兵庫県丹波市	M後期/S40's増築	氷上郡公会堂などに携わった西垣竹蔵の自邸。主屋は、正面に縦長の虫籠窓を3所に開き、軒まで塗込めて外観を整える。軸部は木太く堅牢なつくりで、座敷は面皮材を用い数寄屋風の意匠も取り入れる。旧納屋や塀などの附属施設もよく残る。	建築物 住宅	2
旧西垣家住宅旧納屋		M後期		建築物 住宅	1
旧西垣家住宅塀		M後期		工作物 住宅	1
佐埜家住宅主屋	奈良県奈良市	嘉永3年(1850)/S中期・同後期改修	奈良町の中心部に位置する。主屋は表屋造の構成を取り、通り土間に簡潔な架構をみせるなど江戸末期の町家の特徴をよく伝える。渡廊下は、中庭に面する濡（ぬれ）縁には柱を立てず、天井も鏡板張とするなど意匠を凝らす。旧能舞台は、本舞台や後座の構えを残し、町家に附属する能舞台として希少な遺例。	建築物 住宅	1
佐埜家住宅渡廊下		S前期		建築物 住宅	2
佐埜家住宅旧能舞台		E末期/S中期改修		建築物 住宅	3
豊崎家住宅主屋	奈良県奈良市	E末期/M前期・S初期・同57・H28改修	間口三間の町家で、玄関土間から通り土間沿いに5畳と6畳を並べる。軒高が低く、表構えに古式を示す町家。	建築物 住宅	1
伊勢屋北蔵	和歌山県御坊市	M前期	伊勢屋は江戸時代より酒造業を営む。北蔵と南蔵は、明治から大正、昭和にかけて建築、拡張されたもので、酒造業の繁栄過程を物語る。南蔵は、牛梁を連ねた上に梁を組む小屋組が壮観。	建築物 産業2次	1
伊勢屋南蔵		T期/S前期増築		建築物 産業2次	1

名 称	所 在 地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別	基準
旧美濃地家住宅主屋	島根県益田市	E後期/安政2年 (1855)・S前期・H17 改修	美濃地（みのじ）家は、18世紀に当地に移り、鉾山支配人及び割元庄屋となり、明治以降は道川村長を務めた。匹見川上流の山間地に敷地を構え、主屋は、豪雪に備えた急勾配の茅葺屋根で、床上部は前後列の室を土壁で明確に仕切り、式台玄関や上の間など高い格式をみせる。米蔵は、妻に鳳凰（ほうおう）と家紋の鰻（こて）絵を施し、虫籠窓の輪郭を青色に飾る。	建築物 住宅	2
旧美濃地家住宅米蔵		E後期/H17改修		建築物 住宅	1
弘泉寺本堂	岡山県倉敷市	文政10年(1827)/S51 改修	真言宗寺院で、塩飽大工の作。本堂は、華美に走らず良材を用いた手堅いつくりで、臺股など細部意匠は波形や動植物など洗練された意匠で飾る。山門は、境内東に建つ薬医門で、頭貫は全長に渡って波を模しているなど、随所に彫刻を彫る装飾豊かな点に地域及び大工の特色をよく表す。	建築物 宗教	1
弘泉寺山門		文政12年(1829)		工作物 宗教	2
瀧口家住宅主屋	広島県庄原市	T2	山陰と山陽を結ぶ交通の要衝に建つ。主屋は、式台玄関の虹梁や出格子に整った意匠をみせ、座敷飾りなど随所に大工の技量が発揮される。主屋の西方に渡廊下を介して客殿が建つ。客殿は、平屋建であるが建ちが高く、入母屋造の屋根に鯨（しゃち）瓦を載せ重厚な外観をみせる。主屋を取り囲むように建つ土蔵、納戸、木小屋などの附属施設は、外壁を塗り込め重厚な外観で、納屋は厩（うまや）や養蚕の作業所として使用され、栗（くり）材の柱に地域性を示す。敷地の境界を限る中門及び袖塀、裏門及び土塀は、土塀の総延長115メートルにも及び、壮大な屋敷構えを形づくる。	建築物 住宅	2
瀧口家住宅客殿及び渡廊下		T15頃		建築物 住宅	1
瀧口家住宅納戸		M後期		建築物 住宅	1
瀧口家住宅土蔵		T期/S後期改修		建築物 住宅	1
瀧口家住宅納屋		T期		建築物 住宅	1
瀧口家住宅木小屋		T期		建築物 住宅	1
瀧口家住宅中門及び袖塀		T2頃		工作物 住宅	1
瀧口家住宅裏門及び土塀		M35頃		工作物 住宅	1
瀧口家住宅長屋門及び診療所		M35頃	長屋門は、明治35年診療所開業時の建築で、院長の居室や入院施設をもち、併設する診療所と共に明治後期の地方病院の形式をよく伝える。	建築物 文化福祉	1
讃留霊王神社幣殿	香川県丸亀市	M後期	市内南方の小高い丘陵上に位置する讃留霊王（さるれお）古墳（円墳）を御神体とする神社。幣殿は、一間社で、背面の讃留霊王古墳を御神体とするため、背面側にも棧唐戸を設ける点が特徴。玉垣は、讃留霊王古墳の墳頂部を方形に画し、東正面を開いて幣殿との間を通路状に結ぶ特徴的な構成。鳥居は、境内東の参道中ほどに建つ石造の明神鳥居。	建築物 宗教	2
讃留霊王神社玉垣		E末期/M後期増設		工作物 宗教	1
讃留霊王神社鳥居		文政13年(1830)		工作物 宗教	1
寶月堂南館	香川県丸亀市	T7/S6増築,S32・同 41改修	丸亀市中心部に建つ。外観は、北半部を釉薬タイル貼にスパニッシュ瓦の洋風、南半部を平入黒漆喰塗の町家風にまとめ、昭和初期の様相を伝える商店建築。	建築物 産業3次	2
竹村家土蔵	高知県高岡郡佐 川町	M後期/H12改修	佐川町中心部に建つ二階建の大規模な土蔵。妻面に3段、背面に2段の水切瓦を設けるなど伝統的な外観で、地域の特色をよく示す。	建築物 住宅	1
旧竹村呉服店主屋	高知県高岡郡佐 川町	安永6年(1777)頃/M 初期・H6・同27改修,T 前増築	佐川町中心部に位置する旧呉服店。主屋は店舗及び表蔵の背面に隣接して建ち、通り土間沿いに2列各3室を配する。北六畳間の座敷は長押を廻さない簡素なつくりで古式を残す。街道に面して建つ店舗及び表蔵は、正面腰部を海鼠壁とするが、店舗は芋目地で表蔵は四半貼と異なる意匠とするなど特徴ある外観をつくる。土蔵は敷地の背面に離れて建ち、屋敷構えを構成する。	建築物 産業3次	2
旧竹村呉服店店舗及び表蔵		文政11年(1828)頃 /M5頃・H6・同27改修		建築物 産業3次	1
旧竹村呉服店土蔵		M中期/H6・同27改修		建築物 産業3次	1
江頭家住宅主屋	福岡県大川市	E末期/S前期・同40's 増築	明治45年に江頭家が取得し、地域特産の家具製造業を営んだ。主屋は、入母屋造妻入の直屋に切妻造の角屋を直交させる、当地域の大規模町家に特有の居蔵造とする。門及び塀は、主屋の正面北側に接続する。	建築物 産業3次	2
江頭家住宅門及び塀		E末期		工作物 産業3次	1

名 称	所 在 地	建 設 年 代	特 徴 等	種 別	基準
齊藤商店店舗兼主屋	佐賀県小城市	S2頃/S40's改修	城下町に建つ近代町家。建ちが高く、トラス組の大屋根が特徴。ガラスを多用した開放的なつくりで、ミセの吹抜けやショウウインドウなどに洋風意匠を巧みに用いる。	建築物 産業3次	2
大森家住宅主屋	熊本県山鹿市	M5/T13頃・S20頃増築	市内中心部を通る旧菊池往還に北面して敷地を構える。主屋は、東棟はつし二階建で、大正期に背面の台所、昭和期に二階建の西棟を増築し、拡張過程をよく示す。東棟は、間口が6間半と広く、正面腰部を亀甲模様の海鼠壁で飾る。西棟は内法が高く、上質な和風意匠でまとめる。敷地内に残る蔵や観音堂、塀とともに伝統的な屋敷構えを今に伝える。	建築物 住宅	1
大森家住宅蔵		M初期/M後期増築		建築物 住宅	1
大森家住宅観音堂		S32		建築物 住宅	1
大森家住宅北塀		S15頃		工作物 住宅	1
大森家住宅西塀		S15頃		工作物 住宅	1
妙壽寺本堂	大分県豊後高田市	M35頃/H11改修	妙壽寺（みょうじゅじ）は浄土真宗寺院。本堂は、後に帝室技芸員となった佐々木岩次郎の設計。本堂は、軒の納まりに凝った意匠をみせ、内部は格天井を高く張るなど壮大かつ優美である。経蔵は、正面両脇間の花頭窓、丸桁に唐草の鏤絵を施すなど特徴ある外観をみせる。鐘楼は、中備に間口いっぱい墓股を置き、牡丹（ばたん）の彫刻を施した独創的な意匠をもつ。中門と山門はともに四脚門で、中門は支輪に地紋彫を施し、大ぶりの獏（ばく）木鼻など壮麗な意匠をもつ。山門は板墓股や木鼻などに江戸中期の特徴をみせ、風格あるたたずまいをみせる。	建築物 宗教	2
妙壽寺経蔵		E中期		建築物 宗教	2
妙壽寺鐘楼		宝暦11年(1761)		工作物 宗教	2
妙壽寺中門		E末期/S前期改修		工作物 宗教	2
妙壽寺山門		E中期		工作物 宗教	2
細島駿潮場	宮崎県日向市	M26/T12・S13改修	継続的な潮位観測のため陸地測量部によって設置された駿潮場の建屋。内部は前室と観測室からなり、観測室に井戸が設けられている。我が国における潮位観測の歴史を今に伝える。	建築物 その他	2
綾陽校記念館	宮崎県東諸県郡綾町	M21/S32・同53・同60移築,S53増築	綾（あや）小学校校舎として建築された。内外を和風意匠でまとめる。内部の教室3室は、明治19年に公布された小学校令が示す標準的な教室にほぼ合致しており、明治時代の小学校校舎の有り様をよく示す。	建築物 学校	2
市来大迫家住宅	鹿児島県いちき串木野市	T5/S16増築	木造平屋建の住宅で、玄関奥に座敷3室を並べ、洋室を配し、さらに廊下を延ばして内玄関や諸室を設ける。建具、天井、欄間などに繊細な意匠をみせる大規模近代和風住宅の好例。	建築物 住宅	2

注

建設年代：Eは江戸，Mは明治，Tは大正，Sは昭和，Hは平成の略。

種別：土木は土木構造物，工作物はその他工作物の略。

基準：1は国土の歴史的景観に寄与しているもの，2は造形の規範となっているもの，3は再現することが容易でないもの。